

ブライダル大手、ノバレーゼ、大分初進出
完全貸し切り型の婚礼施設を府内城跡の北で、20年秋オープン
九州で出店加速、20年春には熊本に開業、計4店に

結婚式場運営の大手、(株)ノバレーゼ(本社:東京都中央区、荻野洋基社長、資本金:100百万円)は、大分県に初進出し、貸し切り型(ゲストハウス型)の婚礼施設「大分モノリス」(大分市城崎町3)を、2020年秋に開業します。当社が大分県に進出するのは初めてです。

当社は九州地区での店舗展開を強化しており、20年春の熊本県初出店に続く、同地区4店目として施設をオープンします。

式場は昼夜各1組限定で、プライベート感の高さも売りに、年間約125組の挙式を目標に掲げ、5.2億円の売り上げを目指します。

地元、大分の伝統工芸「竹細工」のデザインを内装に採用

「大分モノリス」は、来年(2020年)2月から着工し、同年秋に開業します。場所は大分駅から車で7分、大分府内城にほど近い好立地で、昭和通りから2本北に入った筋に構えます。

1日昼夜各1組限定の、プライベート感の高い、完全貸し切り型の結婚式場として運営します。

建物は、約1980平米(599坪)の敷地内に、2階建て(延べ床面積1364平米、412坪)を新築します。披露宴棟とチャペル棟、ドレス・ラウンジ棟で構成し、最大収容人数(着席)は披露宴会場が140人で、チャペルが120人です。

外観は、近代美術館のようなシンプルな造りが特徴です。直方体の箱を積み重ねたようなモダンな建築建造物とモノトーンの配色が、スタイリッシュな印象を与えます。

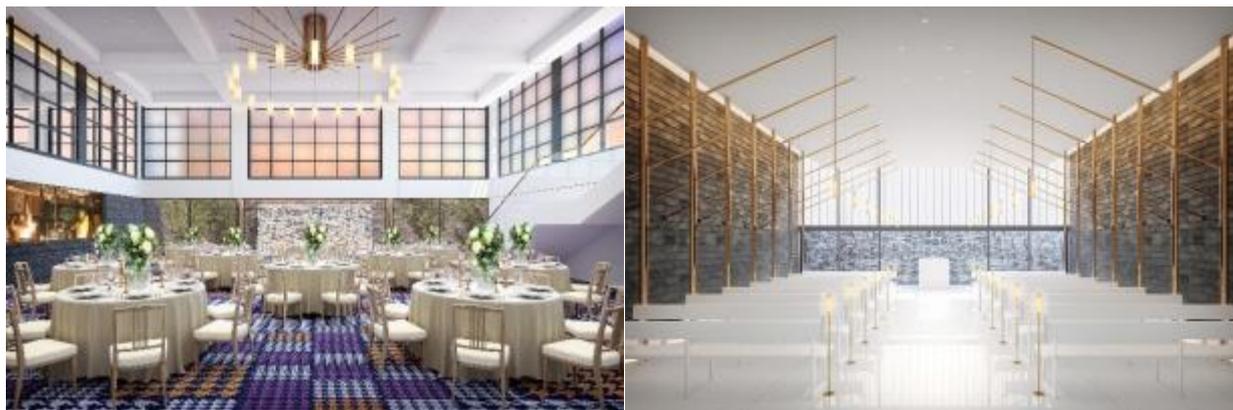
中に入ると、天井高6メートルの披露宴会場と、同4メートルのチャペルが広がります。開放的な空間を1組で独占できます。内装には、大分の伝統工芸である竹細工をイメージした格子状(網目模様)のデザインを、絨毯の図柄や窓枠など随所に取り入れます。

バンケットは、近代建築の社交場を思わせるノスタルジックでクラシックな装いが特徴で、高級感を演出します。壁上部をガラス張りにしており、自然光の入る採光性の高い造りです。

外観内観ともに、一般的な白亜調の結婚式場とは一線を画す大人好みの装いです。他社とは異なるデザインで差別化を図り、上質さを求める25歳から30代の大人のカップルをターゲットにします。1組あたりの想定組単価は約395万円で、2021年は年間約125組の挙式を行い、5.2億円の売り上げを目指します。

来年(2020年)1月10日(金)には営業拠点となる開業準備室を、「大分オーパ」(大分市中央町1)の4階に設け、受注開始します。





(左)披露宴会場は近代建築の社交場を思わせるノスタルジックでクラシックな装い。絨毯の図柄などに、大分の伝統工芸である竹細工をイメージした格子状(網目模様)のデザインを取り入れる
 (右)純白の床と椅子、祭壇越しに滝が流れる幻想的なチャペル。
 金色の筒状の装飾はウエディングアーチをイメージ

ドレスショップも開業、衣裳はオリジナル 9割で差別化

ドレス・ラウンジ棟の2階には、ウエディングドレスをレンタル、販売する衣裳店「エクリュスポーゼ大分店」を開業します。店内にはウエディングドレスやカラードレス、新郎新婦の和装、タキシードを約160着、取り揃えます。店舗で取り扱う衣裳の9割がオリジナル商品です。当店にしかない特別感のある品ぞろえが強みです。衣裳のほか、イヤリングやネックレス、ヘッドアクセサリーなど、ドレスをさらに華やかに演出する小物類も、多く取り揃えます。

ドレスコーディネーターが、試着の段階から、衣裳に合うヘアスタイルを提案し、アクセサリーもセレクトするので、新郎新婦は披露宴当日に近い姿を確認しながら、衣裳等を選べます。初進出となる大分県でも、ドレスコーディネートから当日の披露宴まで、ブライダルをトータルでサポートする体制を整えます。

ドレスのレンタル価格は税込22万円からで、前撮り用衣裳と親族衣裳を含む衣裳総額の平均客単価は約70万円を想定しています。

料理は地元食材を使用、“地産地消”のコースを提供

列席者に提供する料理も地産地消にこだわります。豊後牛や関サバ、関アジなど、地元食材をふんだんに取り入れた和洋折衷の料理を提供します。

披露宴会場はキッチンを併設しています。窓ガラス越しに調理場をご覧いただけるようになっており、目でも料理を楽しませます。



大分県の婚礼費用総額、3年前より17万円増

ゼクシィの結婚トレンド調査2019によると、大分県の披露宴にかかる平均総額は347万円で、3年前(330万円、同調査2016)に比べて17万円も増えています。当社客単価想定でメーンターゲットとなる総額350万円から450万円の層が25%と十分高く、高付加価値を求める層を狙った販促も仕掛け受注拡大を狙います。

施設概要

施設名	大分モノリス	開業日	2020 年秋
住所	大分県大分市城崎町 3 丁目 5870 他 ※開業準備室(1/10 開設) 大分市中央町 1-2-17 大分オーパ 4 階		
交通	JR 大分駅から車で約 7 分 ※開業準備室は大分駅から徒歩 5 分		
営業時間	開業準備室は下記の通り 平日:11:00~19:00、土日祝日:10:00~20:00、定休日:祝休日を除く火・水曜		
面積	敷地面積:1980.92 m ² (599.22 坪)	延床面積:1364.7 m ² (412.82 坪)	
	バンケット(1F):232.00 m ² (70.18 坪)	チャペル(1F):134.4 m ² (40.65 坪)	
収容人数	バンケット:着席 140 人	チャペル:着席 120 人	
駐車場	42 台(施設内 14 台、近隣 28 台)	構造	鉄骨造
売上目標	5.2 億円(2021 年度)	目標組数	124 組(2021 年度)
想定客単価	1 組約 395 万円	デザイン	窪田建築都市研究所
着工	2020 年 2 月	電話	0120-948-778 (開業準備室)
HP	https://produce.novarese.jp/oita-monolith/		
コンセプト	大分の伝統工芸の一つである竹細工の「編む」からヒントを得て、新郎新婦が一本一本の竹のように結ばれる「結う」をテーマにした施設		


本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299 FAX.03-5524-1133

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp